

表2 肺がん検診精度管理調査(平成22年度)【検診機関】

	…前年度から変更があった箇所							
	金沢市医師会	河北郡市医師会 (かほく市)	河北郡市医師会 (津幡町)	河北郡市医師会 (内灘町)	能美市医師会	白山ののいち 医師会	石川県 成人病予防 センター	石川県 予防医学協会
1. 受診者への説明								
解説:この項目(1)-(4)はいずれも、チラシなどで受診前に全員に知らせていれば○、全員でなければ×、ポスターや問診票など持ち帰れないものなら×								
(1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを事前に明確に知らせているか	×	×	×	×	○	×	○	×
(2) 精密検査の方法や内容について説明しているか	×	×	×	×	○	×	×	×
(3) 精密検査の結果の市町村への報告などの個人情報の取り扱いについて、受診者に対し十分な説明を行っているか	×	×	×	×	○	×	×	×
(4) 禁煙及び防煙指導等、肺がんに関する正しい知識の啓発普及を行っているか	×	×	×	×	○	×	○	×
2. 問診および撮影の精度管理								
(1) 検診項目は、問診、胸部X線検査、および(高危険群への)喀痰細胞診を行っているか	○	○	○	○	該当せず	○	○	○
(2) 問診は喫煙歴および血痰の有無を聴取しているか	○	○	○	○	○	○	○	○
(3) 問診記録は少なくとも5年間は保存しているか	○	○	○	○	○	○	○	○
(4) 肺がん診断に適切な胸部X線撮影を行っているか ^{注1)}	○	○	○	○	該当せず	○	○	○
(5) 撮影機器の種類(直接・間接撮影、ミラー・II方式等)、フィルムサイズを明らかにしているか ^{注2)}	○	○	○	×	該当せず	○	○	○
(6) 1日あたりの実施可能人数を明らかにしているか	適応せず	適応せず	適応せず	適応せず	○	適応せず	○	○
3. X線読影の精度管理								
(1) 2名以上の医師によって読影し、うち一人は十分な経験を要した呼吸器または放射線の専門医を含めているか	○	○	○	○	該当せず	○	○	○
(2) 2名のうちどちらかが「要比較読影」としたものは、過去に撮影した胸部X線写真と比較読影しているか	○	○	○	○	該当せず	○	○	○
(3) 比較読影した症例数を報告しているか	×	○	○	○	該当せず	×	×	×
(4) X線写真は少なくとも3年間は保存しているか	○	○	○	○	該当せず	○	○	○
(5) X線検査結果は少なくとも5年間は保存しているか	○	○	○	○	該当せず	○	○	○
4. 喀痰細胞診の精度管理								
(1) 喀痰細胞診は、年齢50才以上喫煙指数400もしくは600以上、あるいは年齢40才以上6ヶ月以内に血痰を有したものの、その他職業性など高危険群と考えられるものに行っているか	○	○	○	○	○	○	○	○
(2) 細胞診の業務を委託する場合は、その委託機関(施設名)を明記しているか	×	○	○	×	○	○	○	委託せず
(3) 採取した喀痰は、2枚のスライドに塗抹し、湿固定の上、パパンニコウ染色を行っているか	○	○	○	○	○	○	○	○
(4) 固定標本の顕微鏡検査は、日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して行っているか ^{注3)}	○	○	○	○	○	○	○	○
(5) がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行っているか	○	○	○	×	○	○	○	○
(6) 標本は少なくとも3年間は保存しているか	○	○	○	○	○	○	○	○
(7) 喀痰細胞診検査結果は少なくとも5年間は保存しているか	○	○	○	○	○	○	○	○
5. システムとしての精度管理								
(1) 精密検査結果及び治療 ^{注4)} 結果の報告を、精密検査実施機関から受けているか	○	○	○	○	○	○	○	○
(2) 診断のための検討会や委員会(第三者の肺がん専門家を交えた会)を設置しているか	○	○	○	○	○	○	○	○
(3) 都道府県がプロセス指標(受診率、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)に基づく検討ができるようデータを提出しているか	○	○	○	○	○	○	○	○
(4) 実施主体へのがん検診の集計・報告は、地域保健・健康増進事業報告に必要な項目で集計しているか	○	○	○	○	○	×	○	○
	C	B	B	C	A	C	B	C